

NHK学園 くにたち短歌大会大賞

〈自由題〉

動くたび汗が吹き出す穴だらけのからだを拭うまだ使うため

千葉 水須 ゆき子

何語かも知らないけれど何味か知らない飴がお礼とわかる

熊本 谷 たにし

△題詠「木」▽

木洩れ日に言葉のありて病院へゆく午後二時のけやき坂道

石川 森田 香津美

日本歌人クラブ賞

野も海も巨大風車の刃が回る それでも鳥は渡り続ける

青森 竹内 健悟